

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 51 週（2025/12/15～12/21） 感染症発生動向調査速報値（2025/12/24 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数：**1,645** 人、定点医療機関当たり **35.00** 人

※急性呼吸器感染症定点（旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科18定点）

図1. 患者報告数の推移(富山県)

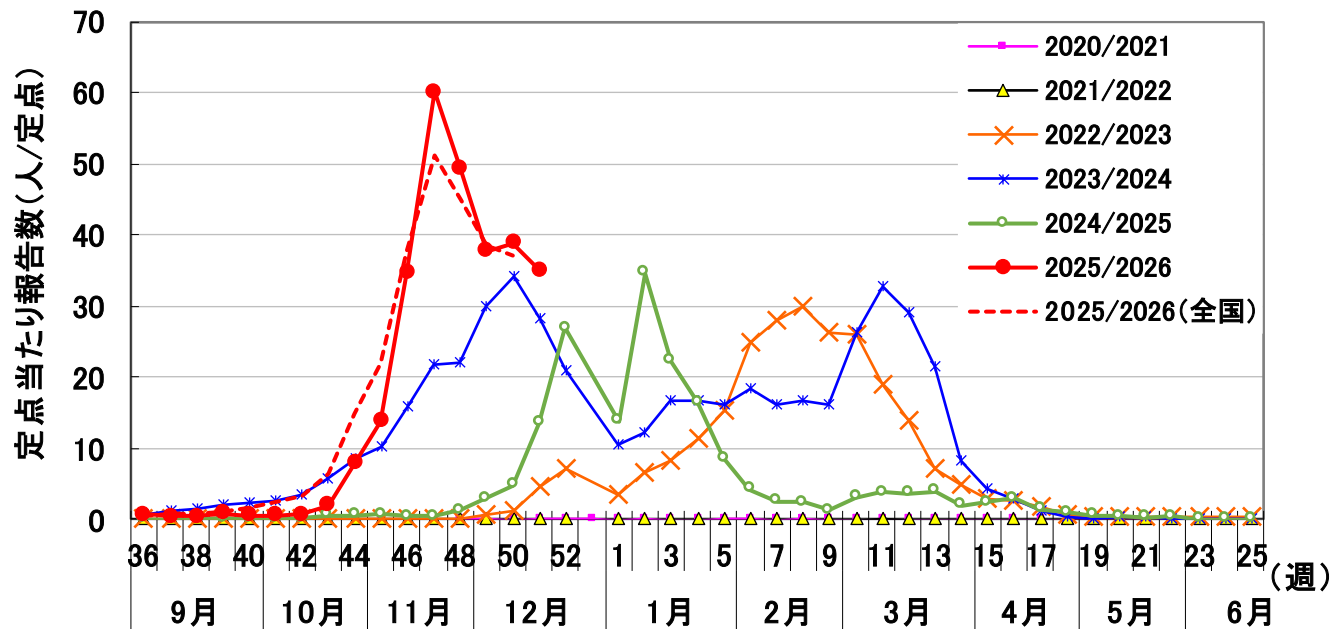
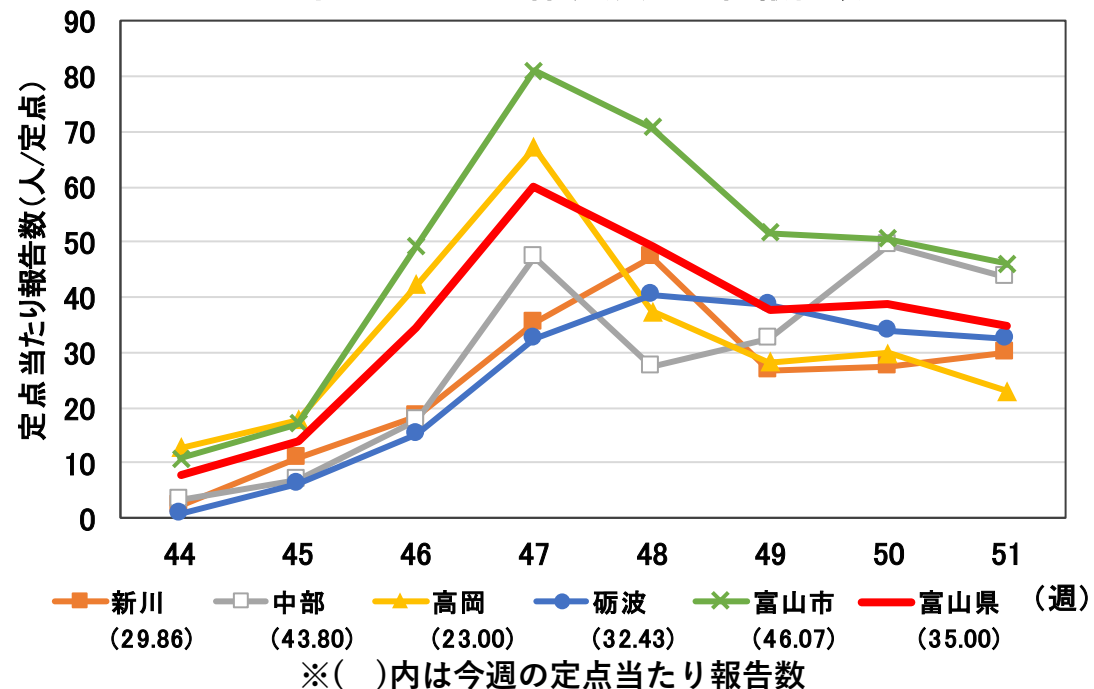
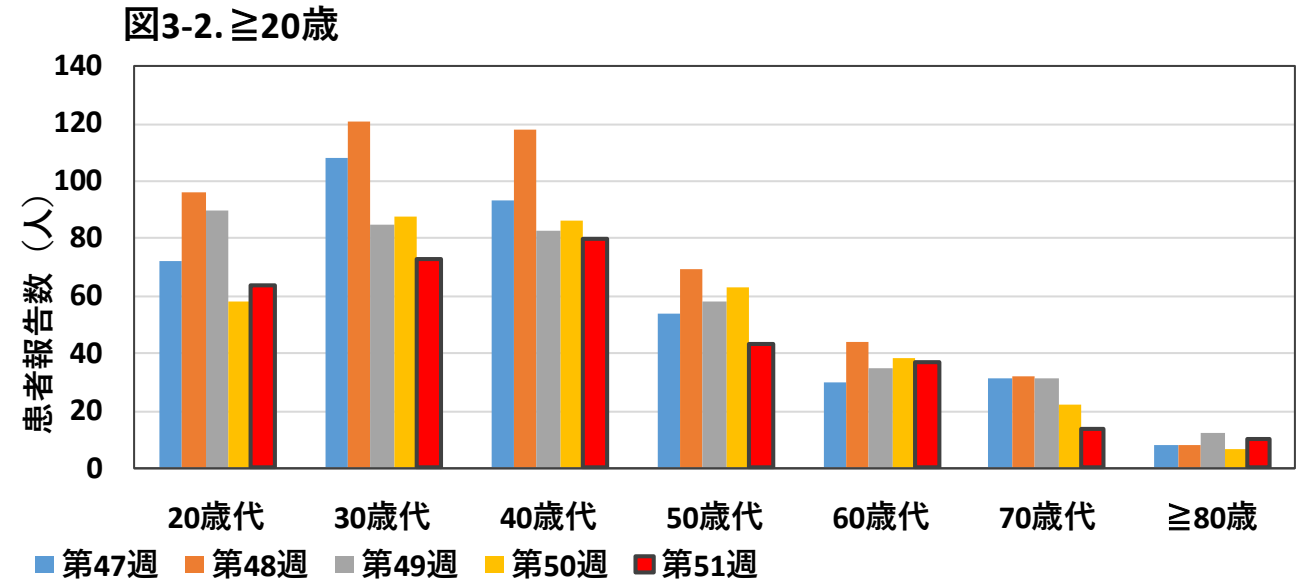
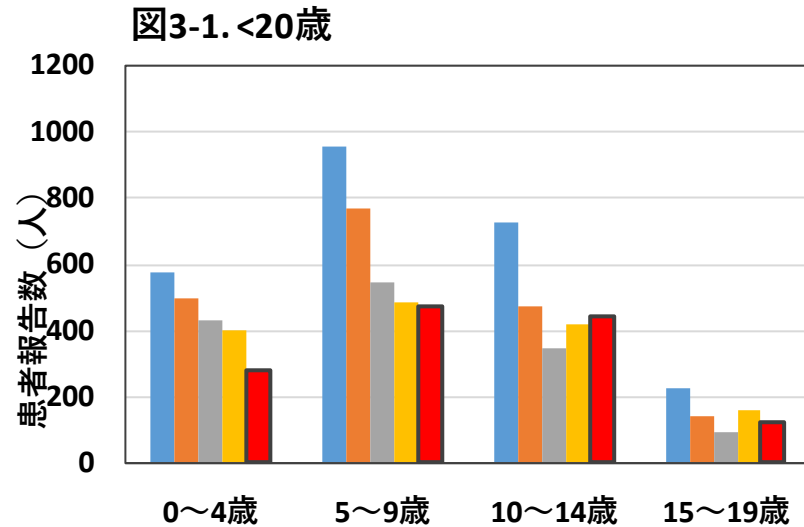


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数は今週35.00人/定点となり、先週（38.85人/定点）から減少した（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、新川管内で先週からやや増加したほかは、すべての管内で先週から減少した（図2）。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 10～14歳、20歳代、80歳以上で先週から増加した一方、その他の年代では先週から減少した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第50週)

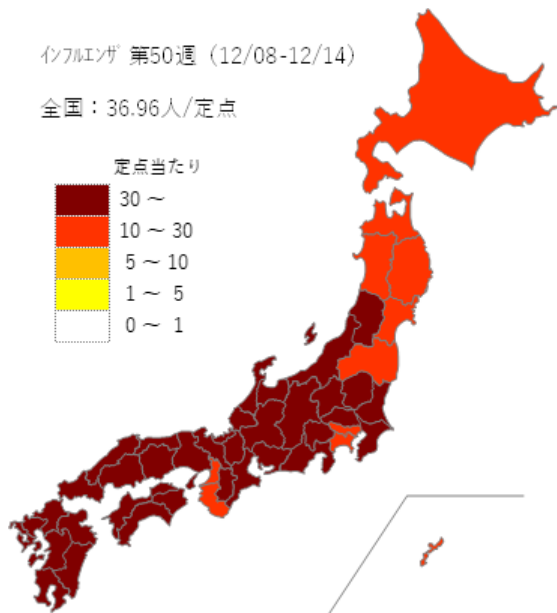


図5. インフルエンザ入院サーベイランス患者報告数の推移(富山県)

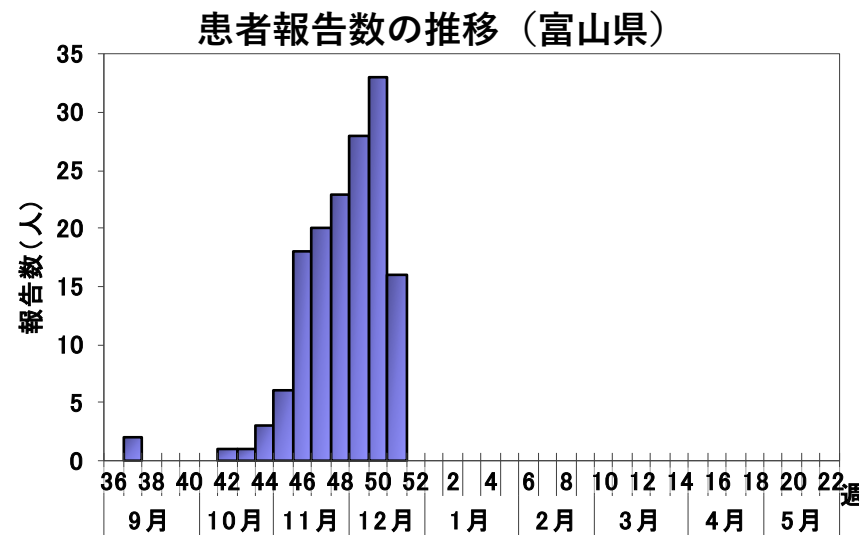
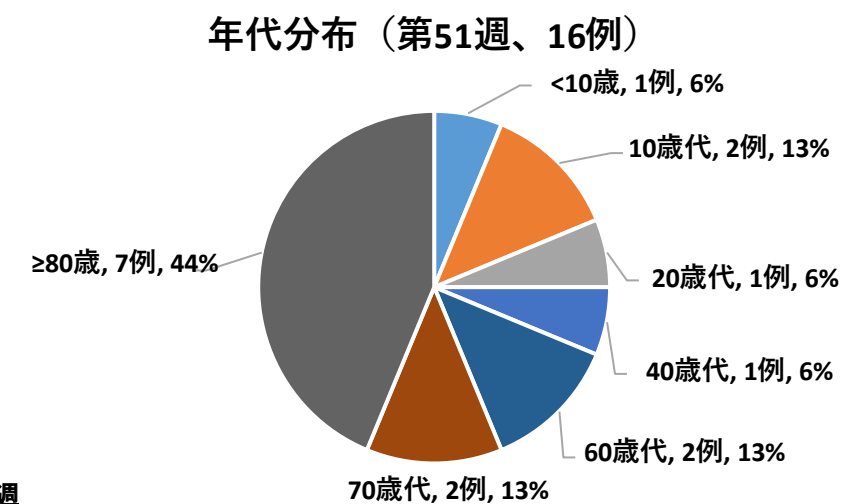


図6. インフルエンザ入院サーベイランス年代分布(第51週、16例)



- 全国では第50週に36.96人/定点となり、第49週(38.59)から減少した。都道府県別では、36府県で警報開始基準の30.0人/定点を超えている(図4)。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週16例の報告があり、先週(33例)から減少した(図5)。
- 入院患者の年代は、10歳未満、20歳代、40歳代が各1例、10歳代、60歳代、70歳代が各2例、80歳以上が7例であり、70歳以上が57%を占めた(図6)。
- 第51週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が47件(小学校28件、中学校10件、高等学校8件、その他1件)あった(富山県インフルエンザ関連情報)。
- 県内の患者報告数は先週から減少したものの依然として多い状況が続いており、引き続き発生動向を注視する必要がある。